

# 第4回安芸高田市学校給食検討会議の概要報告

日時 平成18年11月20日 13:30~15:30  
場所 安芸高田市教育委員会 会議室

## □ アンケート調査結果の報告

### ■ 結果と分析について（事務局説明）

[調査報告の項目]

- ① 調査の概要
- ② 調査結果と分析【児童・生徒】【保護者】
- ③ 調査のまとめ

#### 1. 集計数

<児童・生徒>	小学校	中学校		合計
	(学校給食実施13校)	(学校給食実施校2校)	(ミルク給食実施校4校)	
計	522人	132人	399人	1,053人
<保護者>	1036人	165人	464人	1,665人
計	1036人	629人		

#### 2. 結果・分析

##### <食生活に関すること>

- ・朝食を摂ることで「活力」「身体リズム」「集中力」「持続力」の増進につながり、その朝食の摂食については、しっかりと習慣が確立されている状況がある。
- ・偏食につながる好き嫌いの傾向は、学校給食と比較すると家庭の方が高い。
- ・嫌いな物を食べない子への対応を重点に置きながら、学校給食と家庭で進める一貫した取組みが重要である。

##### <給食の現状>

- ・学校給食校（完全給食・補食給食）の児童・生徒は、学校給食に対する好感度が高い。[→肯定的回答：8割]
- ・栄養に関する知識や大切さも学んでいる現状もわかる。
- ・ミルク給食の生徒は、ほとんどが家庭でつくられた弁当を持参している状況がある。

##### <児童・生徒の中学校給食に対する考え>

- ・6対4の割合で弁当がよいとする傾向が高い。
- ・弁当がよいとする理由としては、「家でつくった弁当が食べたい」が最も多い。また、学校給食がよいとする理由としては、家の人が弁当をつくる負担を気にかけてのものが最も多い。
- ・弁当がよいとする傾向は、児童の方が高く、生徒に限ってみると、現在の給食実施方法を選択する傾向が見られる。

##### <保護者の中学校給食に対する考え>

- ・現在実施している完全給食、補食給食、ミルク給食の3つの方法の中では、約75%、20%、5%の希望順となっている。
- ・保護者は、食に関する意識が高く、学校給食の担う役割についての期待が大きく、早期に中学校における完全給食を望む意見が多数ある。

##### <今後の課題>

- ・学校給食における量や体調管理の上で配慮しなくてはならない課題も見え、改善に向けて関係者の協力のもと、より丁寧な調査分析を加えることも検討していかなくてはならない。
- ・今後においても、家庭と学校給食で進める一貫した食に関する取組みを一層促進し、今の状況より着実に子どもたちの食生活を充実させていくことが肝要である。